

大明 幻灯上映会 懐かしの幻灯上映会 8/13(日)午後3時～

“幻灯”は光源とレンズを使って、透明なスライドやフィルムなどにしるされた
絵画や写真などのイメージをスクリーンに大きく映し出すメディアです。

17世紀に欧米で発明され、江戸時代の日本にも伝わっていましたが、明治期に
英語の magic lantern の訳語である【幻灯】の名称が定着し、新時代の映像メデ
ィアとして一世を風靡しました。

映画の普及後は勢いの衰えた幻灯ですが、戦時中に復活し、昭和20-30年代
には第二の全盛期を迎えます。昭和戦後の幻灯は、子どもや主婦、貧しい労働者
であっても、誰にでも手作りして、人を集めて上映できる草の根の映像メディア
としても盛んに活用され、写真やマンガ、人形劇、影絵などを使った数々のユニ
ークな作品が作られています。今回、貴重なフィルムを研究者の解説付きで幻灯
機を使い上映します。

解説：鷺谷 花さん（大阪国際児童文学振興財団 特別専門員）

①小特集「第二次世界大戦後の復興・建設イメージ - 日本と海外 -」

『アメリカの子供』（映光スライド株式会社、製作年不詳）

『首都東京の建設』（東京都、1956年）

『モスクワの地下鉄—地下の宮殿—』（星映社、1954年）



②「くりひこ うりひめ」（作・絵 かこさとし）

桃太郎と瓜子姫をアレンジした創作民話 / ナレーション JOKO 演劇学校生徒有志



「©かこさとし 1951」

平成29年 **8月13日** (日) 午後3時～4時20分

会場 みらい館大明（豊島区池袋3-30-8）大明スタジオ（地図裏面に記載）

主催 NPO 法人いけぶくろ大明（みらい館大明）

後援 豊島区

フィルム提供 早稲田大学演劇博物館 / 協力：財団法人大阪国際児童文学振興財団

定員 40名（事前申込・先着順） / 料金 無料

申込 みらい館大明まで TEL：03-3986-7186

E-mail : miraikan_taimei@yahoo.co.jp

※みらい館大明は、地域の有志で構成された NPO 法人いけぶくろ大明が管理・運営する閉校施設です。

み
ら
い
館
大
明

幻
灯
上
映
会